

生涯活躍のまち 令和6年度第1回マッチングイベント

対面
開催

令和 6 年 7 月 31 日 (水) 14:00~16:00

TKPガーデンシティ大阪リバーサイドホテル (大阪府大阪市都島区)

主催：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 事業委託事務局：PwCコンサルティング合同会社

概 要

地方公共団体と民間事業者・団体の意見交換会を実施

「生涯活躍のまち」は分野横断的に様々な事業が想定されますが、事業を効果的・効率的に実施し持続可能な事業の設計を実施していくことが求められます。足下の働き方の変化やITの進化を踏まえて、デジタル技術を含め持続可能な事業の設計を行うためには、地方公共団体と民間事業者等とが連携し、知見やノウハウを共有して検討することが重要です。

上記を踏まえ、「生涯活躍のまち」に係る事業の具体化のため、「生涯活躍のまち」の取組を進めたい **地方公共団体** と **民間事業者・団体** の **意見交換** を実施しました！



参 加 者

地方公共団体7団体、民間事業者15社・団体にご参加いただきました！

地方公共団体

(順不同・敬称略)

- 長野県 飯田市
- 兵庫県 南あわじ市
- 兵庫県 川西市
- 奈良県
- 奈良県 大和高田市
- 広島県 安芸太田町
- 鳥取県 南部町

計7団体

民間事業者・団体

(順不同・敬称略)

- ディップ株式会社
- 一般社団法人Shien
- 株式会社ルネサンス
- 株式会社JOINT CREW
- 株式会社AOI Pro.
- 株式会社みんなのまちづくり
- 合同会社わくわくデザイン
- 株式会社ためきち商事
- 株式会社Kids Public
- NTTコミュニケーションズ株式会社
- 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
- 一般社団法人生涯活躍のまち推進協議会
- 認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
- 株式会社JTBコミュニケーションデザイン

他 計15社・団体

参加団体の声

参加者からは概ね満足とのご意見をいただきました！

自治体だけの事業では持続性が乏しいと考えている中、民間事業者・団体の取組も聞くことができ、大変有意義だった

似た課題を持つ地方公共団体が集まり、そこにそれを解決出来る事業者が集まるという良い循環が生まれていた

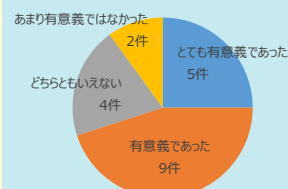
お話しが出来た民間事業者・団体との理解が非常に深まった

各自治体様と有意義な情報交換と、一定の関係性構築ができたと感じた

情報収集をしたかった案件と同様の案件を扱う民間事業者から事例を聞くことができ参考になった



フリーディスカッションの満足度 (回答数：20件)



写真：フリーディスカッションの様子

イベント後の関係構築へ

イベント後の個別の意見交換につながったという **地方公共団体** **民間事業者・団体** も！



地方公共団体のメリット

1

課題のとらえ方の新たな発見！

「生涯活躍のまち」に係る事業の検討においては、多くの民間事業者・団体と情報交換することが、課題に対する新たな切り口への気付きにも繋がり、思いがけない発見がある。

民間事業者から、地域活性化や関係人口の創出に関して、これまでにない視点からのアプローチ方法を聞くことができた



2

多様な視点からの着想！

行政以外の多様な視点から検討することで事業の実現可能性と質が向上する。
多様な製品やサービスにも出会うことで、「生涯活躍のまち」以外の政策領域も含めて新たな着想を得られる。

業務と直接関連がない企業等とも幅広く意見交換でき、所管施策の推進にとっても地域の民間事業者・団体との協業が非常に重要と認識し、勉強になった



3

事業具体化へ論点の整理！

民間事業者からの質問等に答える過程で、地域課題の捉え方や事業のターゲット設定などで気付きがあり、今後の事業の具体化のために詰めるべき論点が明らかとなる。

民間事業者・団体と意見交換することで、解決したい課題をより具体化すべきであることが重要と認識した



4

他地域の情報収集！

地域の多様な課題の解決に取り組む他の地方公共団体の現状や悩み、課題感を含めて、他の地域での取組事例の情報を収集することができる。

イベントに参加した、同じ「生涯活躍のまち」の推進に取り組む、他自治体の取組状況にも関心を持った



民間事業者・団体との対話の際のポイント

1

事前の情報整理と基礎情報の事前共有

- ▶ 意見交換に当たっては、事前に地方公共団体が地域課題等を適切に整理しておくことが必要。
- ▶ 対話の時間を有効活用できるよう、事業概要などの基礎情報は事前に相手方に共有しておくことが望ましい。

限られた時間の中でも、地方公共団体の課題の方向性を確認でき、新たな関係づくりができた



2

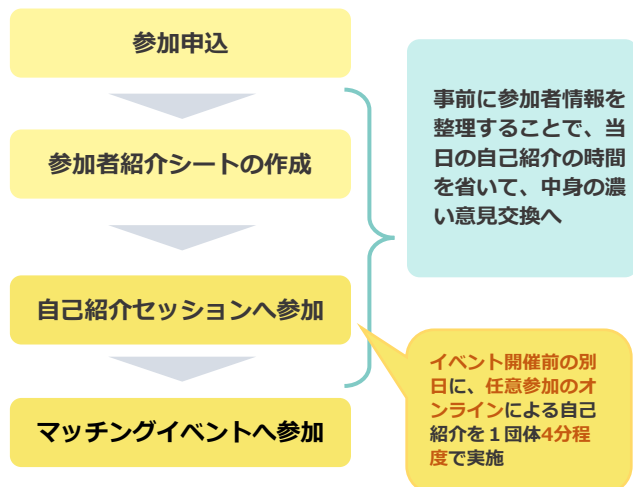
地方公共団体の参加者の体制

- ▶ 民間事業者等と具体的な意見交換ができるよう、一定程度の業務経験のある者が参加することが望ましい。
- ▶ 企画部門などのとりまとめ部局だけでなく、事業テーマの所管部局も参加することが望ましい。

地方公共団体が求めている事や期待していることの詳細が分かると、効率的に意見交換ができる



今回のマッチングイベントまでの流れ



参加者紹介シートの詳細

地方公共団体様の記載内容

- ・ 基本情報（人口、世帯数、地域の特色 など）
- ・ 解決したい主要な地域課題と実施している施策や事業
- ・ 目指す将来像
- ・ 将来像と地域課題を踏まえて、今後実施したい事業
- ・ 関連するサービスや技術等のイメージ
- ・ 民間事業者等と意見交換したいポイント

など

民間事業者様の記載内容

- ・ 基本情報（所在地、事業の特色 など）
- ・ まちづくりに関する事業事例（「生涯活躍のまち」の5テーマに関わるもの）
- ・ 強みのあるサービス分野や今後事業化したいテーマ

など

「生涯活躍のまち」の実現に向けた各種参考資料

次の資料をホームページ等で発信することにより、地方公共団体における「生涯活躍のまち」の事業立案を支援

(参考リンク) <https://www.chisou.go.jp/sousei/about/ccrc/index.html>



「生涯活躍のまち」取組事例集

「生涯活躍のまち」を推進する地方公共団体の取組概要を掲載



「生涯活躍のまち」づくりに関するガイドライン

「生涯活躍のまち」の推進のため、取組を検討あるいは既に推進している地方公共団体や事業者向けに基本的な考え方等を示した資料



「生涯活躍のまち」導入事例集

「生涯活躍のまち」づくりに関するガイドラインの補完資料

ガイドラインに記載する「推進プロセス」のうち、「生涯活躍のまち」の推進意向がある地方公共団体から照会の多い「生涯活躍のまち」導入の経緯等について掲載



「生涯活躍のまち」コミュニティづくりの〈積み木アプローチ〉説明書

「生涯活躍のまち」づくりに関するガイドラインの補完資料

実際に取組を始めるための実践的な手引きとして、「生涯活躍のまち」を推進するための具体的なプロセスを掲載



「生涯活躍のまち」づくりに関するデジタル活用事例集

「生涯活躍のまち」の推進にあたって、デジタル技術を活用して推進している地方公共団体の取組事例について、デジタル活用事業の具体化プロセスも含めて掲載



全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」に関する参考施策集

「生涯活躍のまち」を推進するにあたって参考となる関係省庁の施策及びその事例について掲載



「生涯活躍のまち」全般について

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局
中村・吉本・藤村
電話：03-6257-1414
メール：JPccrc@cas.go.jp

本事業に関するお問い合わせについて

PwCコンサルティング合同会社（本事業委託先）
東海林・横山・川田
電話：050-3196-9872
メール：jp_cons_multigenerational@pwc.com